

日本聖公会・人権セミナー2024

テーマ：共に生きるために

きょうだいと共に住むことは / 何という幸せ、何という麗しさ。（詩編 133 : 1）

今年の人権セミナーは大阪教区が担当させていただきます。今年1月に大阪市から「大阪市多文化共生指針」が発行されました。そこには2019年12月現在で143の国と地域の人が大阪市に暮らしていると記されています。多様なルーツを持つ人が暮らしている大阪にあって、毎年10月の第3日曜日に「外国人が暮らしやすい社会は日本人も暮らしやすい」を合い言葉にインターナショナルデーの集い（カトリック大阪高松大司教区、外国人との共生をめざす関西キリスト教代表者会議、外国人との共生をめざす関西キリスト教連絡協議会の共催）が開催されるなど、「共生」は大きなテーマでもあります。

2019年に大阪出入国在留管理局には235名の難民認定申請がありましたが、認定されたのは11名でした。2020年は78名の申請があり認定されたのは0名だったとのことです。また、この6月10日には昨年成立した改定出入国管理法が施行され、難民申請3回目以降は強制送還の対象となりましたし、今までは保証人とされていた支援者が今後は「監理人」と呼ばれるようになりました。そして6月14日には外国籍者の永住権の取り消し理由を拡大する意図が垣間見える改定出入国管理法が成立しました。

私たちが暮らす社会は多様なルーツを持つ人同士の共生が求められる一方で、それを拒む力が働いているように感じられます。

今年の人権セミナーでは、「草の根市民運動」の一つとして関西でいち早く難民支援を開始したNPO法人RAFIQの田中恵子さんのお話を伺います。そして大阪で最も共生社会が育まれていると言える生野区に2020年にできた難民ハウス「シナピスホーム」（カトリック大阪高松大司教区社会活動センター シナピス）に学びます。多様なルーツを持つ私たちが共に生きるために必要なことを祈り考える機会としたいと願っています。

2024年8月7日

日本聖公会人権問題担当者
大阪教区宣教局

記

日 程：2024年10月7日(月)午後2時～8日(火)午後4時

場 所：在日大韓基督教会館 (KCC) 〒544-0032 大阪市生野区中川西 2-6-10

・大阪メトロ千日前線「今里」2番出口 徒歩12分

・天王寺（東出口）あべの橋バス停7番乗り場

今里ライナーで「中川西公園前」下車 徒歩2分

定 員：30名

参加費：全日程参加：5,000円

部分参加：1日目資料代など1,500円、2日目資料代など1,000円

食事代：1日目夕食1,500円、2日目昼食1,000円

締 切：9月16日(月)

申込先：申込用紙に必要事項を記入の上、メール、FAX、またはグーグルフォーム（申込用紙にあるQRコードを利用してください）で必要事項を記入してください。

※宿泊についてはホテルパックなど、各自で適切な方法でご計画ください。

※交通費・宿泊費について45,000円を超える方には管区より補助があります。グーグルフォームに明細と金額をご記入ください。

※問い合わせは、担当の古澤司祭（大阪聖愛教会 06-6771-4123、メールアドレス jfhide@gmail.com）にお願いします。会場への問合せはしないでください。

人権セミナー2024

プログラム（予定）

10月7日（月）	プログラム	場所
14:00	受付	KCC 会館
14:30	開会の祈り/オリエンテーション	
15:00	講演会 RAFIQ 田中恵子さん	
16:30	分かち合い（小グループ→全体）	
18:00	夕の祈り	
19:00	夕食・交流	生野パーク
20:30	解散	
10月8日（火）		
10:00	KCC 会館集合	KCC 会館
10:30	難民ハウスでの働きを通して	シナピスホーム
12:00	分かち合い	KCC 会館
13:30	昼食	
14:30	閉会聖餐式	
15:30	解散	

日本聖公会人権問題担当者

大阪教区宣教局